

水稻V溝乾田直播栽培の生育状況（6月8日現在）

■ 耕種概要等

- ① 品 種 まっしぐら
- ② 圃場造成 秋季耕起、代かき
- ③ 種子処理 種子消毒後に浸種、キヒゲン R2 フロアブル塗抹
- ④ 播種機 V溝播種機
- ⑤ 播種日 4月23日
- ⑥ 播種量 乾籾 10kg/10a 程度
- ⑦ 施肥量 窒素成分 10kg/10a 程度（LP100）
- ⑧ 雑草防除 5月25日ノミニー液剤、6月8日アッパレZジャンボ

■ 生育状況



6月8日現在、イネの草丈は15cm程度で、葉齢は2.5～3.0葉程度となっています。6月1日から入水し、圃場全体が8～10cm程度の湛水状態となったので、一発除草剤を散布しました。

■ 栽培管理のポイント

一発処理剤散布後5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水や掛け流しを行わないようにします。早い時期に田面が露出してしまうと除草効果が十分に発揮されなくなるので注意しましょう。

散布後7日以降は雑草の再発生をできるだけ抑えるため、少し深めの5～6cmの水深で管理してください。

なお、農薬を使用するときは、必ず最新の農薬登録情報を入手して、直播栽培に登録があることを確認しましょう。